

活動報告

Activity Report

活動カレンダー (2007年11月～2008年3月)

■11月

- | | |
|-------|--|
| 7 | 第63回臨時理事会 (東京、JPNIC会議室) |
| 19 | 電子認証プラクティスフォーラム BoF (東京、秋葉原コンベンションホール) |
| 19～22 | Internet Week 2007 (東京、秋葉原コンベンションホール) |
| 27 | 第20回ICANN報告会 (東京、秋葉原コンベンションホール) |

■12月

- | | |
|---|-------------------------------|
| 7 | 第33回臨時総会 (東京、東京ステーションコンファレンス) |
|---|-------------------------------|

■2月

- | | |
|----|-------------------------|
| 15 | 第64回通常理事会 (東京、JPNIC会議室) |
|----|-------------------------|

■3月

- | | |
|----|-------------------------|
| 21 | 第34回通常総会 (東京、八重洲富士屋ホテル) |
|----|-------------------------|

第20回ICANN報告会レポート

【関連記事】 P.48 「ICANNロサンゼルス会議報告」

2007年11月27日（火）、秋葉原コンベンションホール（東京都千代田区）にて、JPNICと財団法人インターネット協会（IAJapan）の共催で第20回ICANN報告会を開催しました。以下に、報告会の内容をご紹介します。

◆ICANNロサンゼルス会議概要報告

筆者であるJPNICの高山より、ICANNロサンゼルス会議（2007年10月27日～11月2日）の概要を報告しました。本会合でのトピックであった、WHOISに関するPDP（Policy Development Process：ポリシー策定プロセス）、新gTLD導入に関するPDP、IDN*1の進捗、ドメイン名テストリングへの対応、役員人事について等が主な内容となります。

◆ICANNアドレス支持組織（ASO）報告～IPv4アドレス枯渇に関する議論～

JPNICの穂坂より、ロサンゼルス会議で開催されたASOワークショップの様子や、ASO、RIRでの議論の動向をご報告しました。

ASOワークショップでは、IPv4アドレスの在庫枯渇が主なテーマとなり、在庫枯渇の状況や、関連するIPアドレスポリシーの策定プロセス等についての説明とディスカッションが行われたとのこと。技術的な専門用語が飛び交う議論であったため、一般ユーザーも理解できるような内容にするよう努めてほしい、とのコメントもあったようですが、IPv4アドレス在庫枯渇関連の問題意識はICANNの場でも浸透してきたようで、多くの場で議論されるようになったとの印象が伝えられました。

IPv4アドレス在庫枯渇にまつわる問題は、IPアドレスポリシーの策定、IPv4アドレスの回収再利用、IPv6の採用等

だけでは解決できるものではなく、乗り越えるべき課題は未だ多くあるとのことでした。JPNICでもこの問題に取り組んでおり、「IPv4アドレスの在庫枯渇に関して*2」のページで関連する情報を定期的に発信していますので、ご参照ください。

◆IDN ccTLDの検討状況

IDN ccTLD導入に向けた検討状況について、株式会社日本レジストリサービスの堀田博文氏よりご報告いただきました。

現在利用されているccTLDには、ISO 3166-1で定めているASCIIの2文字を一律そのまま用いていますが、今後新たなccTLDを導入していこうとすると、ICANNの場において文字列をリスト化する作業が必要となります。ICANNの場でポリシーを策定するためにはPDPを経ることになりますが、PDPでISO 3166-1に対応したIDN ccTLDを策定しようとすると、政治的な問題等も絡んだポリシー調整が必要



ICANN報告会の様子。
参加者の皆様に熱心にご清聴いただきました。

になると考えられ、最初のIDN ccTLD導入までに2～7年程度かかるとも言われています。

しかしながら、IDN ccTLDの早期導入を切実に願うコミュニティが少なからずあるため、その要望に応えるべく、ccNSOを中心として、正式なプロセスとなるPDPとは別に、安全に混乱の無い範囲で早期導入を可能とする暫定的なポリシーを策定し、1年余りで限定的なIDN ccTLDを導入することを目的として、並行して検討を行っています。

堀田氏からは、日本語.jpのサービスを提供されてきたこれまでの経験に基づき、利用環境が整えば日本語のTLDへの需要は見込めるのではないかとの見解が示されました。ccTLDとgTLDはともに、2008年第4四半期にはIDN TLDの創設提案の受け付けを開始するとも言われており、日本のコミュニティにおいてIDN ccTLDの導入について議論される日は遠くないのではないかと思います。

◆ドメイン名の "Front Running" について

JPNIC理事の丸山より、GNSOの議論の中で興味深かったトピックの一つとして、ドメイン名のFront Runningについてお知らせしました。

「ドメイン名のFront Running」とは耳慣れない言葉かと思えます。例えば、あるドメイン名を登録しようとしてWHOISを検索したところ、未登録の状態であることが確認できたものの、その数日後に当該ドメイン名を登録しようとしたところ、既に登録済みであることが判明した、というような状況を経験した方はいらっしゃるでしょうか。この例のように、ドメイン名を登録しようとする人が登録可能性をWHOISでチェックすると、第三者がその検索結果をモニタリングして、先行してドメイン名を登録してしまう

行為が行われているのではないかと疑われているのです。そうした行為は、証券取引の世界で言われる「フロントランニング*3」の状況と似ていることから、このように言われています。

ロサンゼルス会議の直前にSSAC*4より提出された報告書*5では、ドメイン名のFront Runningについては確たる証拠が無く、実際に行われていると断言はしていません。しかしながら、現状ではWHOISの検索結果が漏洩する可能性は残念ながらあり、苦情が寄せられたり疑念を持たれているという状況は、ドメイン名事業に対する信頼感を失わせているとされています。SSACではドメイン名のFront Runningについてさらに研究を進めるために、事例の提供を求めています。

- ※1 **Internationalized Domain Name (IDN：国際化ドメイン名)**
ドメイン名を表す文字としてASCII以外の文字も使えるようになるための技術です。また、そのような文字を用いて登録されたドメイン名そのものを指すこともあります。RFC3490、3491、3492で規定されています。
- ※2 **IPv4アドレスの在庫枯渇に関して**
<http://www.nic.ad.jp/ja/ip/ipv4pool/>
- ※3 **フロントランニング**
(株式会社東京証券取引所グループの証券用語の説明より)
「証券会社またはその役員が、顧客から有価証券の売買の委託等を受けた場合、その売買を成立させる前に、自己の計算において同一銘柄の売買を成立させることを目的として、顧客の注文より有利な価格（同一価格を含む）で有価証券の売買を行うことをいい、証券取引法で禁止されています。」
http://www.tse.or.jp/glossary/gloss_h/ku_frontrunning.html
- ※4 **Security and Stability Advisory Committee (SSAC：セキュリティと安定性に関する諮問委員会)**
ICANNの諮問委員会の一つで、インターネットのネーミングおよびアドレス割り振りシステムのセキュリティと完全性に関する問題について、ICANNコミュニティおよびICANN理事会に対して助言を行います。SSACは、ルートサーバ運用管理者、gTLD/ccTLD運用者、レジストラ、RIRsなどの技術関係者19名によって構成されます。
- ※5 **Domain Name Front Running (20 October 2007)**
<http://www.icann.org/committees/security/sac022.pdf>
P.9～P.10に、事例提供をする際の報告要領が記されています。

◆ICANN At-Large諮問委員会（ALAC）報告

財団法人ハイパーネットワーク社会研究所の会津泉氏より、At-Large諮問委員会（ALAC）の活動報告がありました。

ALACでは、委員メンバー15名中13名が入れ替わったことにより、議論を進める前に進め方の確認から行う必要があったり、活動方針についてICANNスタッフと認識のずれがある等の不安定要素を抱えつつも、ポリシー分野への取り組みを進めていることが報告されました。

特に、IPv4在庫枯渇に関しては、「IPv4枯渇とIPv6移行に関するコメント」を提出し、ALACとしてはこれまでRIRが行ってきた取り組みを尊重し、これからの活動に対し、より積極的に参加していく意向であることが伝えられました。

2007年11月12日から15日まで、ブラジルのリオデジャネイロで開催された第2回インターネットガバナンスフォーラム (IGF: The Internet Governance Forum) ^{※6}では、JPNICが共催団体の一つとして参画したIPv4在庫枯渇とIPv6移行に関するワークショップに会津氏も共催団体の代表として参加されたため、その際の様子も報告いただきました。ワークショップでは、IPv4在庫枯渇に関する問題の概要のみならず、日本政府の取り組みも紹介し、多くの聴衆が関心を寄せていたとのことでした。

◆ICANN政府諮問委員会（GAC）報告

総務省の柳島智氏より、政府諮問委員会（GAC）での議論の様子について報告がありました。

GACでも、IDN ccTLD導入について引き続き検討が進められており、今回の会議でも考慮すべき検討課題につい

て意見交換が行われたとのことでした。文字列や運用者等は各国政府の決定に従うべきとの基本的考えに基づき、さらに検討を重ね2008年6月のパリ会議にてGACの考えを取りまとめる予定であること、また早期導入を実現するための暫定的措置については支持をしており、新gTLD創設の際に国名と紛らわしい文字列が申請された場合には、必要に応じて申し入れをしていくことで合意されたことが伝えられました。

WHOISと各国のプライバシー保護法規との齟齬への対処については、各国の事情が異なる中で統一的な手続きを策定することは現実的ではないため、個別の問題は関係国政府に照会されるべきとの考えを表明したとのことでした。WHOISデータの利用と悪用の実態調査をICANNに対し再度申し入れたということで、今後のWHOISの議論にも反映されることと思われます。

GACに参加する政府関係者は、電気通信関連の担当である場合もあれば外交担当の場合もあるなどバックグラウンドが異なるため、IPv4在庫枯渇とIPv6の導入の話題については捉え方に温度差があったようですが、2008年度の優先検討課題の一つとして認識されるまでになったそうです。総務省としては、2008年3月にアクションプランを提出する予定であることが伝えられました。

◆ICANN理事からの報告

株式会社ネオテニーの伊藤穰一氏は、ロサンゼルス会議をもってICANN理事の任期を終え退任されました。理事の立場で関わるICANNを報告いただく最後の機会となり、これまでの3年間を振り返り経験談をお話いただきました。

ICANN理事を務めるためには、会議出席や膨大な資料の

読み込みなどに多くの時間を要し、年の1/4から1/3の時間をICANNの活動に投じているとのことで、本業とのバランスを保つことが大変難しい様子が窺えました。特に、指名委員会選出理事となると、ICANNが直接的に関係する業界に対して中立的な立場の人を選出しようとするため、選出されたメンバーからすると自身の出身組織とICANNとの関わりが薄く、ボランティアのような性質になりがちとのことでした。理事メンバーのモチベーションを維持するためには、ワークロードとリターンのバランスを考えていくことが課題の一つとして考えられるとの見解を示されていました。会場からは、伊藤氏のこれまでの功績に対して拍手をもって感謝の意が表され、今後、伊藤氏の報告が聞けなくなることを残念がる声も聞かれました。

ICANNは、予算規模が年々膨らんでいることから分かる通り、組織として肥大化しており、機動力の低下が懸念点として指摘されています。そのような状況において、時にラディカルな意見も投じていた伊藤氏を失うのは惜しいことだと思います。



ICANN報告会の資料と動画は、JPNIC Webサイトにて公開しています。

<http://www.nic.ad.jp/ja/materials/icann-report/index.html>

(JPNIC インターネット推進部 高山由香利)

※6 インターネットガバナンスフォーラム (IGF)
インターネットガバナンスの問題に関し、マルチステークホルダー(各界関係者)間で政策対話を行う国際連合管轄のフォーラムです。
[関連記事] P.51 「IGFリオデジャネイロ会議報告」

第33回臨時総会報告

2007年12月7日（金）、第33回JPNIC臨時総会を、東京都千代田区丸の内東京ステーションコンファレンスにて開催いたしました。今回の総会では、1件の報告事項のほか、2007年度補正予算案、IPアドレス維持料の一部見直しの件、理事1名選任の件の3議案について、会員の皆様にお諮りしました。以下、本総会の報告事項と議案について、簡単にご報告します。

◆報告事項：IPv4アドレス在庫枯渇問題に関する検討報告書の件

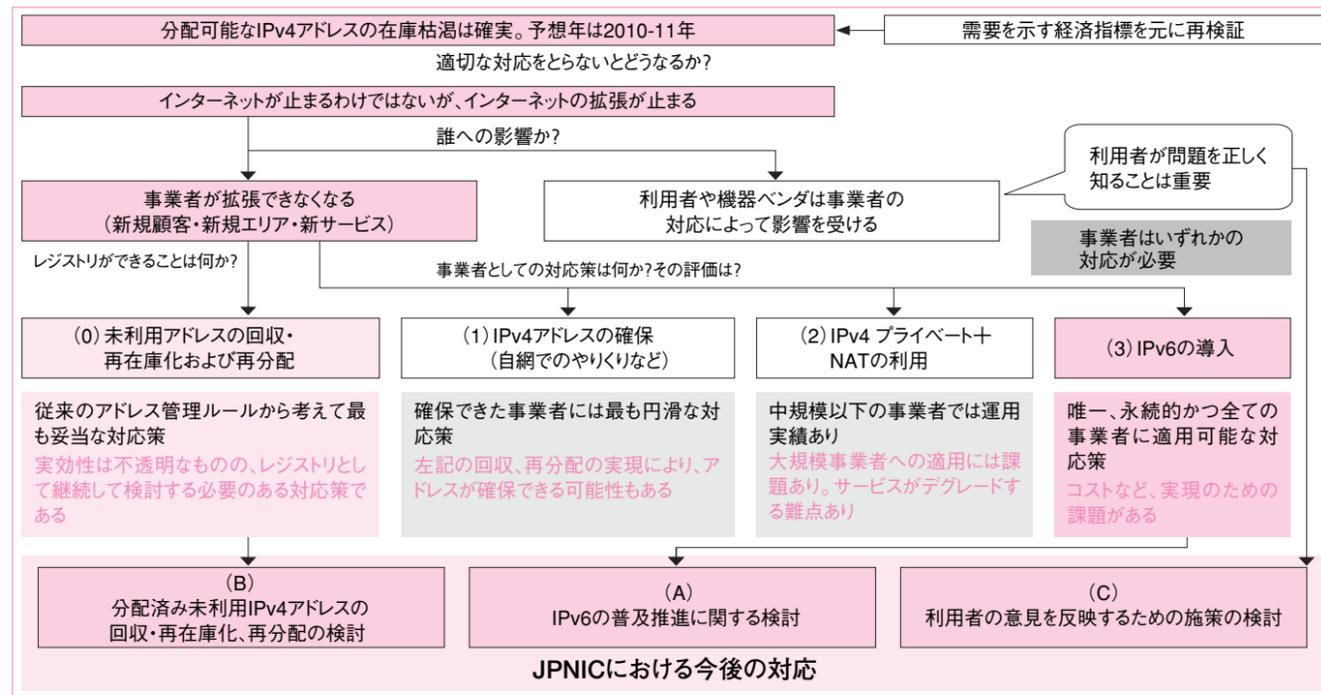
本件に対するJPNICの検討結果の報告について、荒野理事が説明を行いました。

詳細は、既に本号の特集1※1でも報告しているために割愛しますが、2010年～2011年頃とされるIPv4アドレス在庫枯渇に向け、三つの対応策を提示し、それに対する考察を加えました。また、JPNICとしての今後の課題も述べました。

検討報告書は、下記URLからご参照いただけます。

□ <http://www.nic.ad.jp/ja/topics/2007/20071207-01.html>

IPv4アドレス在庫枯渇問題に関する検討報告書（第1次）エグゼクティブサマリー



◆第1号議案：2007年度補正予算案承認の件

本議案は、第31回総会（2007/3/9）にて承認された2007年度収支予算に、変更が生じたため作成された、補正予算案についてお諮りしたもので、変更する収支予算項目について、成田事務局長が全体の説明を行いました。本議案は、原案の通り承認可決されました。

◆第2号議案：IPアドレス維持料の一部見直しの件

前村IP事業部長より、IPアドレス維持料の一部見直し案について、提案がありました。本議案につきましては、第23回総会（2004/6/18）でご承認いただいたIPアドレス事業料金体系見直しに基づき、2008年度の維持料見直しについて検討した案をお諮りしました。説明終了後、原案の通り承認可決されました。

◆第3号議案：理事1名選任の件

過去1年での理事3名の辞任を受け、減員の補充、運営基盤・体制の強化のために理事会から推薦された、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社ブロードバン



第33回総会会場の様子

ドIP事業部長 高瀬哲哉氏が、新理事に選任されました。第33回臨時総会の資料、議事録等は、JPNIC Webサイトにて公開しております。

□ 社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
第33回総会（臨時総会）

<http://www.nic.ad.jp/ja/materials/general-meeting/20071207/>

総会に引き続き、講演会が行われました。今回の講演会は、竹内芳明氏（総務省総合通信基盤局 電気通信技術システム課長）より、「新世代ネットワーク実現に向けて」と題した講演が行われました。

2008年度事業計画・収支予算に関わる次回の第34回通常総会は、2008年3月21日（金）に東京・八重洲富士屋ホテルにて開催する予定です。

(JPNIC 総務部 細越亜紀子)

※1 関連記事 P.4「特集1 IPv4アドレス在庫枯渇問題に関する検討報告書（第1次）の公開にあたって」



講演を行う竹内芳明氏